

小原國芳教育行脚訪問地



松山市での講演会における小原國芳

小原國芳の教育行脚先について、正確な記録に残る初回の日時と場所は、大正9（1920）年5月1日（33歳）の福島師範学校附属小学校である。そして、最後は昭和50（1975）年11月19日（88歳）の鹿児島短期大学創立十周年記念式典となっている。半世紀以上にわたって「真の教育」「教育立国」等を訴えて全国各地を回った。本図はその訪問地を表したものである。全国津々浦々という言葉が正に当てはまるエネルギーな行動力である。太平洋戦争の開戦前には「日米戦うべからず」とアメリカで270回もの講演を行っている。そして、終戦の年の11月には困難な交通事情の中でこの行脚を再開している。

「全人教育」の身辺雑記等の記録では996にもおよぶ市町村の訪問先地名がある。しかし、半世紀以上にわたるために訪問先によっては町村合併等により地図上から地名が消えている所も見られた。それらは統合された現在の地名に改めて表記した。長期にわたるために「鶴町の小学校、九段の中学校」とか「町田の中学校、鶴川の小学校」等の地名表記の重複が一部に見られる所もあるが、現在もある地名については、そのまま記載した。2度3度訪問した町は数多いが、10回以上訪問した町は秋田市、鏡子市、日黒区、横須賀市、名古屋市、大阪市、神戸市、鹿児島市、そして郷里の久志の9ヶ所が数えられる。

